



2025年3月31日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
(東証スタンダード・名証メイン コード:4667)
問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典
(Tel 052-950-7500)

“異なる位置情報を、ひとつに”
アイサンテクノロジー、空間 ID 対応アプリケーションの提供を本格化
～国土交通省「GeoSynergy Linkage Hub」ラボ認定を取得～

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、異なる種類の位置情報データをシームレスに 4 次元時空間情報（空間 ID）へ対応させるアプリケーションの提供を通じて、都市やインフラ管理の高度化に貢献する取り組みを進めております。

このたび、当社の取り組みが評価され、国土交通省 地理空間情報課が推進する「GeoSynergy Linkage Hub」におけるラボ認定を取得いたしましたのでお知らせします。

詳細は別紙をご覧ください。

以上



報道関係者各位

2025年3月31日
アイサンテクノロジー株式会社

**“異なる位置情報を、ひとつに”
アイサンテクノロジー、空間 ID 対応アプリケーションの提供を本格化
～国土交通省「GeoSynergy Linkage Hub」ラボ認定を取得～**

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）は、異なる種類の位置情報データをシームレスに 4 次元時空間情報（空間 ID）へ対応させるアプリケーションの提供を通じて、都市やインフラ管理の高度化に貢献する取り組みを進めております。

このたび、当社の取り組みが評価され、国土交通省 地理空間情報課が推進する「GeoSynergy Linkage Hub」におけるラボ認定を取得いたしました。

近年、都市や社会インフラの管理においては、測量・地図・航空写真・登記・自動運転など、様々なソースの位置情報を一元的に扱うニーズが高まっています。しかし、それぞれのフォーマットや基準が異なることで、データの統合や連携が大きな課題となっていました。

当社は、デジタル庁「複数モビリティの分散協調運行のための基盤構築に関する実証調査研究」（京都スマートシティ推進協議会）や国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT（エヌアイシーティー））から受託した「スマートモビリティプラットフォームの実現に向けたドローン・自動運転車の協調制御プラットフォームの研究開発（採択番号：JPJ012368C01601）」や実証実験で得た知見及び成果を活用して、以下の技術やノウハウを軸に、解決策を提供してまいります：

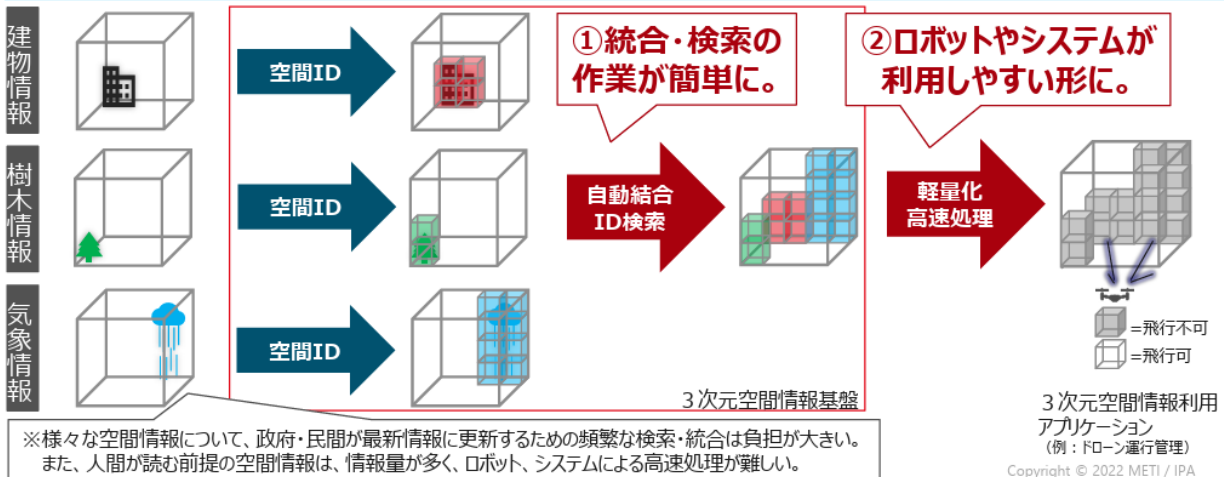
- ・異種の位置情報データを空間 ID に自動変換・連携するアプリケーション
（地図・測量・登記・自動運転・3D 都市モデルなどに対応）
- ・座標⇄空間 ID の変換ライブラリを搭載した Web サービスの提供
- ・地上・地下を含めた地物情報の共通管理機能の仕様検討

特に、当社の空間 ID ソリューションが以下の実用シーンで期待されています：

- ・複数モビリティの協調運行（自動運転・ロボット連携）
- ・不動産登記・建物高さ情報の一元管理
- ・地上・地下インフラの統合管理

2-3 3次元空間情報基盤の整備の概要

デジタル完結・自動化・全体最適化を実現し、自律移動ロボットの社会実装を進めるため、自律移動ロボット・システムが異なる種類の空間情報を簡易に統合・検索したり、軽量に高速処理できる仕組みとして、異なる基準に基づいた空間情報であっても一意に位置を特定できる3次元空間ID（点ではなく荒い区切りの箱状のグリッドで定義）を検索キー（インデックス）として導入し、**鮮度の高い様々な空間情報（時間情報含む）を高速に自動的に結合できたり、簡単に検索できる**ようにする**技術開発・標準化**を行う必要がある。



出典：「3次元空間情報基盤アーキテクチャ設計報告書」（経済産業省/デジタルアーキテクチャ・デザインセンター）より

[https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/9f4e70e2-2335-4181-8293-](https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/9f4e70e2-2335-4181-8293-258c12549d31/df4f46e8/20220927_policies_mobility_report_03.pdf)

[258c12549d31/df4f46e8/20220927_policies_mobility_report_03.pdf](https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/9f4e70e2-2335-4181-8293-258c12549d31/df4f46e8/20220927_policies_mobility_report_03.pdf)

また、空間IDは経済産業省・デジタル庁による「ウラノス・エコシステム」における共通規格のひとつとして、持続可能なスマートシティの実現に向けた社会実装フェーズへの移行を加速しています。

私たちは、空間データを誰もが活用できるかたちでつなぎ、都市の安全・利便性・持続可能性を高め、空間IDを活用した新たな価値創出に努めてまいります。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

アイサンテクノロジー株式会社
モビリティ・DX ビジネスグループ
TEL : 052-950-7500
E-mail : atam@at45.aisantec.jp